

令和6年3月12日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

令和5年度地域活性化人材育成事業～SPARC～ 全国シンポジウム開催について

本学は昨年度、文部科学省“地域活性化人材育成事業～SPARC～”に採択され、事業の責任大学となりました。

この度、本事業の採択大学である信州大学、岐阜大学、山口大学、熊本大学、宮崎大学と協同で、令和5年度地域活性化人材育成事業～SPARC～全国シンポジウムを下記のとおり開催いたします。

本シンポジウムでは、基調講演のほか採択地域大学の事業説明、テーマ別セッションを行います。

つきましては、多くの方に参加いただくため、イベント情報欄等でご紹介いただくとともに、当日取材をしていただきたく、ご案内いたします。

記

日時 : 令和6年3月29日(金) 14:30～20:00、
3月30日(土) 9:00～12:15

場所 : 甲府記念日ホテル(山梨県甲府市湯村3-2-30)

タイムテーブル:【1日目】

14:30～14:45 主催者挨拶・来賓挨拶

14:45～15:45 基調講演

16:00～18:00 採択地域事業説明

【2日目(テーマ別セッション)】

9:10～10:05 ①地域連携・大学間連携

10:05～11:00 ②高大接続

11:00～11:50 ③文理融合・学部融合

11:50～12:10 挨拶・閉会

※参加人数によっては、多少時間が前後する場合があります。

【取材について】

※取材を希望される報道関係者は、1日目の29日(金)14:15までに直接会場へお越しください。

※質問等がある場合には、当日本学職員が対応させていただきます。

(お問い合わせ先)

山梨大学地域人材養成センター支援課

TEL : 055-220-8624

E-mail : sparc-as@yamanashi.ac.jp

(広報担当)

山梨大学総務企画部総務課広報企画室

TEL : 055-220-8005

E-mail : koho@yamanashi.ac.jp

2024.3.29 [Fri.] - 30 [Sat.]

会場：甲府記念日ホテル
(山梨県甲府市湯村3-2-30)



地域が真に求める「人材」と
「大学教育」のこれから
労働需給GAPが広がる未来に向け、いま私たちができること

プログラム

開会 / 挨拶

1 1日目 (3/29 金) 基調講演

産業構造の変化に学問領域を
どのようにアップデートしていくべきか？

リクルート進学総研 所長、リクルート「カレッジマネジメント」編集長 小林 浩 氏

採択地域事業説明

総評 / 情報交換会

開会 / セッションの趣旨説明

2 2日目 (3/30 土) テーマ別セッション

テーマ①：地域連携・大学間連携(地域が連携して人材育成することの意義)

テーマ②：高大接続(地域人材を育成する為に大学ができること)

テーマ③：文理融合・学部融合(学内で体制を構築するポイント)

セッションまとめ / 挨拶 / 閉会



参加お申し込みはこちらから

定員 現地200名 / オンライン500名 申込締切 3月22日(金)

参加対象 地域活性化事業を推進している大学教職員、小中高教職員、
行政職員、金融機関職員、および本事業に関心のある方

https://sparc-jjp/national_symposium/

お問い合わせ

山梨大学 地域人材養成センター支援課

TEL : 055-220-8449 MAIL : sparc-as@yamanashi.ac.jp

地域が真に求める「人材」と「大学教育」のこれから

～労働需給GAPが広がる未来に向け、いま私たちができること～

2024.3.29 [Fri.] - 30 [Sat.]

会場：甲府記念日ホテル（山梨県甲府市湯村3-2-30）

オンライン配信あり

参加費無料/要事前予約

プログラム

- 14:30 主催者挨拶 山梨大学 学長 中村和彦
- 14:35 来賓挨拶 山梨中央銀行 代表取締役頭取 古屋賀章 氏
- 14:40 挨拶 文部科学省高等教育局視学官(併)大学教育・入試課課長補佐 中村真太郎 氏
- 14:45 **基調講演**
- 産業構造の変化に学問領域をどのようにアップデートしていくべきか？**
- リクルート進学総研 所長、
リクルート「カレッジマネジメント」編集長 小林 浩 氏
- 15:45 休憩
- 16:00 採択地域事業説明(事業責任者)
- 山梨大学 理事(地域人材養成担当)・副学長 黒澤 尋
信州大学 理事(教学担当)・副学長 平野 吉直
山口大学 理事・副学長(総務企画・DX・情報セキュリティ・大学評価担当) 松野 浩嗣
岐阜大学 理事・副学長(筆頭)(総括・評価・総務・広報・基金担当) 杉山 誠
熊本大学 理事・副学長(教育・学生支援担当) 宇佐川 毅
宮崎大学 理事・副学長(教育・学生担当) 新地 辰朗
- 18:00 総評 信州大学 キャリア教育・サポートセンター 特任教授 矢野俊介
- 18:30 情報交換会(20時頃まで/会費制)

1
日
目
(3.29
金)

- 09:00 セッションの趣旨説明
山梨大学 地域人材養成センター 特任教授 杉山 歩(ファシリテーター)
- テーマ別セッション**
- 09:10 ①地域連携・大学間連携(地域が連携して人材育成することの意義)
山形大学 アントレプレナーシップ教育研究センター長 教授 小野寺 忠司 氏
山口大学 事業担当教員、宮崎大学 事業担当教員
- 10:05 ②高大接続(地域人材を育成する為に大学ができること)
全国高等学校長会 事務局長 宮本 久也 氏
信州大学 事業担当教員、山梨県立大学 事業担当教員
- 11:00 ③文理融合・学部融合(学内で体制を構築するポイント)
金沢大学 教学マネジメントセンター副センター長 教授 林 透 氏
岐阜大学 事業担当教員、熊本大学 事業担当教員
- 11:50 セッションまとめ
山梨大学 地域人材養成センター 特任教授 杉山 歩
- 12:10 挨拶 山梨大学 理事・副学長 黒澤 尋
- 12:15 閉会

2
日
目
(3.30
土)

開催趣旨

2018年11月、文部科学省の中央教育審議会から出された「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」では、人口減少や先行きの見えないVUCA時代に対応するため、地域社会と連携した高等教育の指針が提示されました。特に近年、地方では、若者の流出や産業の継続などの課題への対応が急務となっています。地域社会へ人材を輩出する役割を担う地方大学は、今後どのように地域のニーズに添えていくのか。そして、地域の産業、教育機関、自治体を含めた地域全体で、どのように連携を深めていくのか。今回のシンポジウムでは、6校のSPARC事業採択大学と共に、大学と地域の協働による持続可能な地域の未来を模索していきます。

登壇者

小林 浩 氏



リクルート進学総研 所長
リクルート「カレッジマネジメント」編集長

1964年生まれ 株式会社リクルート入社後、グループ統括業務を担当、「ケイコとマナブ」企画業務を経て、大学・専門学校の学生募集広報などを担当。経済同友会に Outreach、教育政策提言の策定にかかわる。その後、経営企画室、会長秘書、特別顧問政策秘書などを経て2007年より現職。令和2年9月25日 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議(第2回)」において、有識者として「地方大学への期待」に関する論点提示を行う。2023年より、文部科学省中央教育審議会大学分科会高等教育の在り方に関する特別部会委員。その他、(公財)大学基準協会 広報委員、大学評価委員、基準委員会委員、(公財)日本高等教育評価機構 広報委員、大学評価判定委員を務める。

小野寺 忠司 氏



山形大学アントレプレナーシップ
教育研究センター長 教授

1982年、日本電気株式会社入社。開発リーダーとして世界初のフラッグシップ商品のTFT液晶ノートなど数々のヒット商品を手掛け、NECノートパソコンの基盤を作る。2012年、NEC執行役員を経て、Lenovo役員に就任。2017年、Lenovoを退職し、山形大学国際事業化研究センター長、有機材料システム事業創出センター長に就任。イノベーション創出に向けて活動やアントレプレナー教育、企業経営指導、起業家育成教育を行い、現在まで、25社のベンチャー、事業を立ち上げた。2022年、新たにアントレプレナーシップ開発センターを設立、センター長に就任。2023年4月、アントレプレナーシップ教育研究センターに改名。

宮本 久也 氏



全国高等学校長協会 事務局長

都立高校教諭から東京都教育委員会では指導事務にあたる。都教育庁指導部高等学校教育指導課長等を務めた後、2012年から東京都立西高等学校統括校長、2018年から東京都立八王子東高等学校統括校長を務める。その間、2015年から全国高等学校長協会会長(～2017年)、中央教育審議会初等中等教育分科会委員、高大接続システム改革会議委員など多くの審議会委員を務め、高大接続改革、大学入試改革に直接関わる。2023年より現職。

林 透 氏



金沢大学 教学マネジメントセンター
副センター長 教授

2013年より山口大学の教育改革を牽引し、文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の企画運営に携わり、事後評価「S評価」に貢献。2021年より金沢大学に着任し、教学マネジメント体制の構築や文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)」における文理融合教育・STEAM教育の推進役を担う。専門は質保証研究、カリキュラム研究。京大大学卒、名古屋大学大学院教育発達科学研究科修了。博士(教育)。